

はじめまして!! * なごみ *

平成25年6月1日、女性用グループホーム・ケアホームとして「なごみ」が開所しました。利用されている方々の生活の様子や活動の様子をご紹介します。

地域での生活

「愛道」109号で紹介した足羽更生園初の男性用ケアホーム「とうごう」開所後、次は女性用ケアホームの開設を！ということになりました。現在は「あすわ地域生活支援センター」の1事業所となっています。

1階、2階合わせて11名の利用者の方が生活しており、一人ひとりの部屋には、電子オルガンがあったり、ソファが置かれていたり、畳が敷かれていたりそれぞれ個性が見受けられます。
朝食・夕食は1階のダイニングに利用者の方が集い、テーブルにはランチョンマットを敷き、陶器の茶碗

やコップを使用するなど、家庭的な雰囲気の中、和やかに食事をしています。

余暇活動としては外食や観劇、室内で焼肉パーティーや誕生日会、ハロウィンパーティーを行うなど季節の行事を取り入れており、利用者の方々の楽しみにつながっています。

みなさんも一度「なごみ」に遊びに来てみてください！

みんな揃って楽しい夕食



大好きなラーメンの前に笑顔の中座さん



グループホーム なごみ ケアホーム

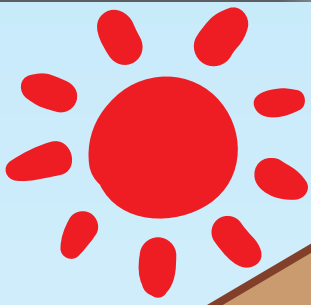
場所: 福井市和田東
建物: 鉄骨2階建て
定員: ケアホーム7名(1F)
グループホーム4名(2F)
職員: 3名、世話人: 5名



* 中座様のお父様より *

「なごみ」の開所に伴い、娘・紀子の移行を希望して転居させていただきました。

部屋は個室になっていて、設備も充実しているので、とても気持ちの良い環境になっており、うれしく思っています。休日には外食したり、観劇したりと楽しめるようになっており、娘も喜んでおります。本人も終の棲家と認識しているのか、落ち着いた生活を送っています。毎日感謝の気持ちで過ごしております。



～いっぺん見にきねの!!～

鈴木さんの 新たな生活

11年間、足羽更生園の女子棟に入所されていた鈴木さん。「なごみ」の開所を機に転居されました。一人部屋に新しいベッド・新しい布団・新しいシーツ…すべてがうれしくて来る人来る人に「部屋見てや〜」と招待してくださいます。

今まで行っていなかった洗濯も自主的に行うようになりました。洗濯機はボタンの操作が難しいよう最初は「どこ押すの？」と職員に確認してこられました。ボタンに印をつけることで少しずつできるようになりました。洗濯物を干したり、乾燥したものを取り込み、たたんだりと自らできることを頑張っています。

平日は近くにある生活



ていねいに洗濯物をたたむ鈴木さん

介護事業所「スマイル」へ行き、マット編みやボールペンの検品などを行っています。休日には部屋でのんびり好きなテレビを見て過ごしたり、天気の良い日は他の利用者の方々と近くの公園まで散歩したり…ある秋の日には「なごみ」の周りの草むしりをしてくださり「きれいになったやろ？見て！」と職員に教えてくださいました。

他の利用者の方の面倒見もよく「〇〇さん、一緒にご飯食べよう」と声をかけてくださったり「〇〇さ

んの洗濯物たたんどのいとよ」と職員のお手伝いもしてくださいます。利用者の方や職員の役に立つことがご本人の喜びとなっていくようになります。

月2回行われている余暇活動も楽しみのひとつで、外出の大好きな鈴木さんはいつも「次どこ行くの？」と気になって職員に聞いてこられます。

今後も自らできることを増やし、地域の中で自立した生活を実現していただきたいと思っています。

鈴木さんにインタビュー

Q. 足羽更生園から「なごみ」に移行してよかったことはなんですか？

A. 一人部屋になってうれしい。Q. 「なごみ」の生活で楽しいことはなんですか？

A. みんなと外出したり、職員と一緒にご飯を食べられたりするのが楽しい。

Q. これからしたいことはなんですか？

A. 下着やよそいきの服を買いに行きたい。

職員・印牧美佳より

開所してから半年がたちました。当初は不安でいっぱいでしたが、利用者の方々の笑顔やご家族の温かい言葉に助けられ、日々支援に励んでいます。

毎月の外出や食事会では利用者の方に楽しんでいただけるようにさまざまな企画を提供しています。

今後も他の職員、世話人と協力しあい、利用者の方の生活の充実のために一生懸命取り組んでいきたいと思っています。